

令和6年 予算審査特別委員会 会議録

招 集 年 月 日	令和6年3月12日（火曜日）			
招 集 場 所	伊江村議会議事堂			
開 議	3月14日 10時00分 島袋 勉委員長宣言			
散 会	3月14日 13時36分 島袋 勉委員長宣言			
出 席 委 員 （ 応 招 委 員 ）			7	島 袋 勉 委 員
	2	知 念 邦 夫 委 員	8	島 袋 義 範 委 員
	3	宮 城 弘 和 委 員	9	亀 里 敏 郎 委 員
	5	虻 江 修 委 員		
	6	並 里 晴 男 委 員	11	内 間 広 樹 委 員
欠 席 委 員	10	名 嘉 實 委 員		
本会議に職務のため出席した者の職氏名	議会事務局長 山城直也君 主 査 金城成君			
地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	村 長	名城政英君	副 村 長	内 間 常 喜 君
	総務課長	西江忍君	福祉課長	島 袋 裕 次 君
	住民課長	平敷兼清君	会計管理者	玉 城 睦 美 君
	企画課長	島袋英樹君	農林水産課長	浦 崎 悟 君
	建設課長	知念利次君	商工観光課長	金 城 幸 人 君
	教育行政課長	新城米広君	医療保健課長	万 寿 祥 久 君
	公営企業課長	玉城正朝君	農業委員会事務局長	知 念 浩 司 君
	総務課長補佐	古堅裕喜君		
議事日程及び会議に付した事件	別紙のとおり			
会議の経過	別紙のとおり			

## 令和6年予算審査特別委員会議事日程（第3号）

令和6年3月14日（木）午前10時00分 開 議

日程	議案番号	件名
第1	議案第1号	令和6年度伊江村一般会計予算（質疑）
第2	議案第2号	令和6年度伊江村診療所特別会計予算（質疑）

○ 委員長 島 袋 勉 君

ただいまから、3日目の予算審査特別委員会を開きます。

(開議時刻10時00分)

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

日程に入ります。

○ 委員長 島 袋 勉 君

日程第1、昨日に引き続き、議案第1号 令和6年度伊江村一般会計予算を議題とします。

質疑に入ります。

7款商工費、60ページから64ページ。6番 並里晴男委員。

○ 6番 並 里 晴 男 委員

商工振興費の中の61ページからあるわけですが、細節312. 観光誘客整備事業及び観光・特産PR事業、これは関連するかと思しますので、その事業についてですが、事業計画書におきましては、観光・特産PR事業なども含めて、島のいろんなイベントを県外とかですというような内容の事業であります。同じく観光誘客整備事業につきましても一括交付金事業を使いまして、そのPR事業をやるというような内容でありまして、今回聞きたいのは、県外での事業計画をする際にぜひ考えていただきたいのは、島の特産品とは言わないのかもしれませんが、工芸品あるいは民具とも言わないのかもしれませんが、つまりアダン帽とか、陶芸をしている方とか、そういう品物もぜひイベントで展示とかするようなことを検討してはいかがかと思しますので、そのことが1点と。

同じくこの振興費の中の歳出692. ハイビスカス振興事業につきましてですが、このハイビスカス園につきましては、現在もいろんなリニューアルして、非常に人気があるわけですが、その中でも12月に私が一般質問しました、村の希少植物であるボウコツルマメをハイビスカス園で移植なりして、観光に来た方々、植物の好きな方々もいるだろうという観点から、PRすることが大事かと思って一般質問もしています。

そこでもう1点、そのPRを兼ねてできないかと思っているのが、現在ハイビスカス園に村内の方がオオゴマダラの蝶々、その食草であるハウライカガミを植えている箇所があります。その方と管理している方の話を聞きますと、オオゴマダラを入れて、そのことによってもハイビスカス園の活性化にもつながるといふことで植えているそうです。そのことにつきまして、担当課のほうでどういう考え方を持っているか伺います。この2点伺います。

○ 委員長 島 袋 勉 君

商工観光課長 金城幸人君。

○ 商工観光課長 金 城 幸 人 君

まず1点目でございますが、今回観光誘客整備事業並びに観光・特産PR事業で、県外、県内のイベントに参加する費用を計上しておりますが、今御質疑のありました村内でやっている手芸とか工芸を、県外でもPRできないかということだと思っておりますが、これまででしたら例えば離島フェアとかですと、やはり村内の土産品とか、一般の業者に対して呼びかけを行っておりましたが、今委員御指摘のとおり、こういった工芸とか、民芸品とかの展示というのは、なかなか行っていなかったというのがあります。今回の離島フェアは、4年ぶりに開催して、店舗数も少なかったということもありまして、伊江村も中のほうでは4店舗、外のほうでも1店舗しか出さなかったという状況がございます。中を見てもみますと与那国などは手芸、民芸などをやっているブースが確か4店舗あった記憶がございます。その中でも販売しているところもあれば、展示しているところもありましたので、そういった形でPRするのも大事なかなと思っております。ぜひ今回県外のほうでも村のPRをしていきたいと思っておりますので、浜名湖でしたり、東京でのイベント等々、今まだ

案しかつুক্তっておりませんが、そういった御意見も参考にして、アダン葉帽だったり、工芸とかを一緒に展示、紹介できるブース、場が設けられたらいいなというふうに思っていますので、ぜひ検討したいと思います。

もう1点でございますが、今ハイビスカス園でのオオゴマダラの件だったと思いますが、ちょうど園の東のほうにこのホウライカガミが茂っておりまして、その中でハウスとハウスの間に、オオゴマダラを飛ばしているということ、六、七年ぐらい前からやっていると園長から聞いております。このホウライカガミもどんどん増やしていくというふうにお話を聞いているんですが、園としては中でハイビスカスを見るだけという形にはなっているんですが、園内はどうしても消毒するものですから、園の中でオオゴマダラを飛ばすというのは非常に難しいんじゃないかというふうにお聞きしております。もし園の近くでやるのであれば、このハウスのすぐそばに小さなハウスとか、蝶園みたいな形であるといいんじゃないかというふうな話だったんですが、どうしても園内だと消毒の影響で蝶に影響が起きてしまうということでございますので、このオオゴマダラ、今村内の有志の方々が数名で木を移植したりやっていると聞いておりますので、ぜひまた園とも調整しながらこういったのが増やしていけるかどうか。検討していきたいと思っております。

○ 委員長 島袋 勉 君

6番 並里晴男委員。

○ 6番 並里晴男委員

1点目の工芸品というか、そういうことにつきましてですが、今課長がおっしゃったとおり、離島フェアを今回、議会のほうでも総務委員が参加させていただいて、私も個人的に参加というか、見てきました。その中で、私も課長が今おっしゃったように与那国とかほかのところを見ると、そのブースがあつて、非常に島をPRしているんだということを思いまして、伊江島のブースに行きますとお土産品ぐらいのものでありまして、少しだけ差があるかなと自分でも感じたんですが、課長も同じ認識だということでもあります。そして私たちの村民との意見交換会、その意見の中でも今回の離島フェアにつきまして、島のPRをするような場所が少ないという意見が出ています。同じように、みんなそういう認識を持っていたんだと思っておりますので、先ほど課長がおっしゃったように、次回からは、しっかりとそういう計画の中に取り組みさせていただいて、ぜひPRをしていただきたいと思っております。先ほどの県外のほうについての出店とかにつきましては、ぜひ工芸をされている方々の意見を聴取させていただいて、その意見を基に令和6年度の県外の出店については検討していただければと思います。ぜひ、意見聴取をよろしくお願ひします。

2点目のハイビスカス園でのオオゴマダラの件ですが、課長がおっしゃったハイビスカス園内でのオオゴマダラを飛ばすとかいうことでは当然ありません。それはもう向こうの管理されている方の言うとおりで、いろんな消毒があるわけですから、そういったところでさせるということではなくて、そのホウライカガミのある食草のところに見ていただいて、先ほど園の方々も、ほかでそういうハウスとかできればという意見もあったそうなので、これは参考ですが、浦添市の美術館のところに「てだこチョウハウス」というのがあるんです。これは普通のビニールパイプでつくられてはいるわけですが、場所が台風とかでも全然関係ない場所です。その中には幼稚園生とか、園に行かない子供たちが自由に入ってきて、そして自由に絵を描いたり、親と団らんができる場所でもあるんです。観光ということでもないのかもしれませんが、ぜひそういう蝶々園もあるわけですが、そこら辺は担当課長など情報ありますか。

○ 委員長 島袋 勉 君

商工観光課長 金城幸人君。

○ 商工観光課長 金城幸人君

今、委員がおっしゃった浦添市の「てだこチョウハウス」の件ですが、初めて聞きましたので、ぜひ情報

収集していきたいと思います。

○ 委員長 島袋 勉 君

6番 並里晴男委員。

○ 6番 並里晴男委員

オオゴマダラのこの蝶園、ハウスといますか。そういったものは両小学校にもあるそうで、伊江島の子供たちは、小学校とかでも見て、いろいろと感じているのかもしれませんが、ぜひ気軽に来れる場所を提供することによって、ハイビスカス園ももっと、例えばパークゴルフをする方と併せてその家族でパークゴルフをしない子供たちは、蝶園の中で遊べるというような環境がつかれるのかなと思ひまして、今回質疑をしていますので、この場所を見たときに、先ほど課長が言った場所ですが、平張りハウスがあつて、今は大きな鉄骨のビニールハウスがありますが、このビニールハウスも使えます。そして平張りハウスについては、もう耐久的にも大分過ぎているということを書いていましたので、園長の方も、抜本的に整備してほしいという要望は書いていましたので、ぜひそういうところをいろんなことで計画していただければと思います。財政的にもいろいろと出てくるかと思ひますので、もう一度この場所について、課長の考え方をお聞きします。

○ 委員長 島袋 勉 君

商工観光課長 金城幸人君。

○ 商工観光課長 金城幸人君

今、オオゴマダラとか、ホウライカガミがある場所でございますが、その隣の平張りが確かこのハイビスカスを持ってきた当時の平張りだったというふうに記憶しております、前回の台風6号でも大分、シートが全部飛んだりとか、もう今は穴が開いている状況であります。園長からも日々、こちらを整備できないかという要請も多々受けておりますので、財政的なこともありますし、またどういった補助事業で整備するか。最近園も施設ができたばかりでございますので、そういった蝶を見せる場所とかも検討しながら、何かこう別で鑑賞できる施設ができればいいかと思ひしておりますので、少しまた内部でも検討して、そういった見せる場を設けるように検討していきたいと思ひます。

○ 委員長 島袋 勉 君

6番 並里晴男委員。

○ 6番 並里晴男委員

先ほど、オオゴマダラと言いましたが、実は城山の周辺では、また変わった蝶々もいるということを知っているんです。なぜそこにいるかという、やはりその蝶々が食草する植物が生えているということも聞いていますので、オオゴマダラにかかわらず、ほかのところもありますので、そういった情報もいろいろと聞いていたりしたら、しっかりそのほうも視野に入れながら、ぜひ先ほど言った平張りのところは基本的な計画を皆さんで検討していただきたいと要望しまして、質疑を終わります。

○ 委員長 島袋 勉 君

ほかに質疑ありませんか。〔「質疑なし」の声あり〕

進行します。8款土木費、65ページから72ページ。8番 島袋義範委員。

○ 8番 島袋義範委員

71ページ、立体駐車場は今度、抽選がありまして、定員というのか、不足だったというふうに聞いているような気がしますけれども、どれぐらいの見込みに対して何%だったのか、お伺いしたいと思います。

○ 委員長 島袋 勉 君

公営企業課長 玉城正朝君。

○ 公営企業課長 玉 城 正 朝 君

今回の募集で382人中、現在375人の申し込みがありまして、そこに4月から異動のある、例えば教員とか、新規に入ってくる人たちを予測して7人、教育委員会から聞いているので7人ほどいるのではないかということ、それを入れて382人と想定してちょうどぐらいかという考えでいます。

○ 委員長 島 袋 勉 君

8番 島袋義範委員。

○ 8番 島 袋 義 範 委員

古くなって駄目になっているのか知らないが、大分空いているという噂があったもので今、聞いているんです。ではちょうどだということですね。はい分かりました。

○ 委員長 島 袋 勉 君

2番 知念邦夫委員。

○ 2番 知 念 邦 夫 委員

67ページ、2項2目の12節委託料、西江上集落道のこの工事の場所をきれいに教えてもらえないかと、お願いします。

○ 委員長 島 袋 勉 君

建設課長 知念利次君。

○ 建設課長 知 念 利 次 君

建設課の予算説明資料の中の25ページなんですけれども、分かりにくい地図で大変申し訳ありません。場所は平面図を見ますと、右側のほうに西江上の公民館があるんですけれども、住宅といえば大城ツヨシさんの住宅の西側から、牛舎の通り南北です。あと東西はここもその通りと一本下の東西の道路ということで整備する予定でございます。

○ 委員長 島 袋 勉 君

2番 知念邦夫委員。

○ 2番 知 念 邦 夫 委員

これは舗装のみですか。それともまた溝まで入るわけですか。

○ 委員長 島 袋 勉 君

建設課長 知念利次君。

○ 建設課長 知 念 利 次 君

今、計画では両側排水の計画でございます。

○ 委員長 島 袋 勉 君

2番 知念邦夫委員。

○ 2番 知 念 邦 夫 委員

今のこの道ですけれども、前に土が道路から出て埋め土したことがあるんです。この辺も勘案しながら施工のほうよろしくをお願いします。

○ 委員長 島 袋 勉 君

建設課長 知念利次君。

○ 建設課長 知 念 利 次 君

道路のほうを今、現況と同じ高さか、畑より道路が上がる考えで施工設計していますので、それで畑の土が流れないような対策で工事を進めていきたいと思えます。

○ 委員長 島 袋 勉 君

ほかに質疑ありませんか。〔「進行」の声あり〕

進行します。9款消防費、73ページから75ページ。8番 島袋義範委員。

○ 8番 島袋義範委員

消防団員の確保について質疑をしたいと思います。去る出初式で見ましたけれども、定員が45人に対して36人と。9人が欠員になっているという状況で、我々から見ても少なくなったという感じを受けたわけですが、現の36人ぐらいでも十分事足りているというふうにお考えなのか。そうであれば定員を36人に見直すことも必要じゃないかというふうに思います。これ1点目。

どうしても45人必要であるということであれば、消防団員の確保について、御努力いただけないかなということでございます。人が少なくなっているので成り手がいないというのは重々、その場でもお伺いしています。私がテレビで見たことをお話申し上げますと、ある自治体では消防団の成り手がいないということで、自由業の方であればいいんですけども、職場で働いているつまりサラリーマンですね。そういう方を企業に、自治体の長が自ら行って「消防団に協力できませんか」というお願いをしているんですということで、またその団員を抱える企業の社長の方もテレビで出ておりましたけれども、「いや、我々は島を守るために、かえって自分の職場から消防団員を出していることに対して、誇りを持っているんですよ」というような言い方がありましたけれども、もし45人どうしても必要ということであれば、村長自ら出て職場を回ってでも「皆さんの企業から消防団員を出してください」と、そして何かあった場合には、優先してこの職場から、災害とか何とかに出勤できるように協力を依頼するということが必要ではないかと感じましたので、村長さんですか。1点目の団員、これで足りるのかどうかから。

○ 委員長 島袋 勉 君

総務課長 西江 忍君。

○ 総務課長 西江 忍 君

非常備消防である本村におきましては、消防団員の皆様には昼夜を問わず、いろんな緊急とか災害時に村民の生命、財産を守るために活動していることに対しまして、本当に衷心から感謝とまた家族にも感謝申し上げたいと思います。どうしても近年のいろんな大きな災害等を見えますと、何名というよりも当然、多ければ多いというのが多分、どの自治体においても、市町村においても本音じゃないのかと私、思っております。やはり地域の防災体制の中核である、消防団員の確保については、全国的減少については大きな問題ではありますけれども、今回1月6日の消防出初式を受けまして、その後すぐに総務課、私、担当補佐を含めて団長、分団長会やあるいは本部委員会でもって、例えば参加しやすい体制づくりだとか、団員を新たに入団させるような体制について、いろいろと協議させていただきました。その中でもやはりこれまでもいろんな消防団の訓練の様子であったりとか、操法大会での活躍等についても、消防団活動を村民に知ってもらおうということで、年2か月置きぐらいの村の広報誌にもいろいろと掲載させていただきました。その中でも団員の募集について2回ほど大きく見出しをとっていただいて、村の広報誌にも掲載させていただいたところでございます。消防分団長の中の会議でもやはり、中にはサラリーマンというか、自営業じゃなくて月給をもらっている団員もおりますので、この辺については今後、いろんな消防団の活動とか行事、式典があるときには、その都度、毎回村長名でもって協力しやすい、参加しやすい体制をつくるために依頼していこうということで取り決めをして、すぐさま実践しようということで、分団長会議でも決定して随時、団員の勤めている会社の代表の皆さんには、文書を持って依頼していこうということで取り決めをしているところでございます。

○ 委員長 島袋 勉 君

8番 島袋義範委員。

○ 8番 島袋 義範 委員

いますぐ分かるかどうか分かりませんが、団員の36人中、自由業を抜かしたサラリーマン、つまり企業に働いている方、何人いらっしゃるのか分かりますか。

○ 委員長 島袋 勉 君

総務課長 西江 忍君。

○ 総務課長 西江 忍 君

1月6日の出初式、記憶に新しいところだと思いますが、2人の団員が退団いたしまして、新たに2人が加わって36人でしたが、その後すぐに、先ほど申し上げたとおり分団長会議を持ちまして、いろんな方を団員に入れようということで募集を、団長、副団長はじめ団員含め、声掛けをしていただきまして、1月30日に新たに1人が団員に加わっております。現段階で37人の団員数でございます。うち農家とか自営業以外の勤めている方でいいますと、農家が20人、建設業にお勤めの団員が7人、その他のサービス業といえますか、宿泊業であったり、造園業であったり、小売り業で10人の団員がおります。

○ 委員長 島袋 勉 君

8番 島袋義範委員。

○ 8番 島袋 義範 委員

分かりました。今建設業で7人の方がいらっしゃると。それからサービス業で10人と半数以上17人がサラリーマンという方々であるということで、先ほどもありましたけれども、そういう職場に対して、長に対して「こういうときは、消防団の何かあったときは優先して出勤させてください」と、また日頃ありがとうございますという、感謝の意を表する機会をぜひ設けていただきたいというふうに思います。

○ 委員長 島袋 勉 君

村長 名城政英君。

○ 村長 名城 政 英 君

ただいまの島袋委員のいろんな御意見を伺って「なるほど」というふうに思っているところもあります。どっちかという、消防団員の皆さん、あるいは区長の皆さんに失礼ですが、一本釣りというか。「あの人はこれに向いていないか」という方に当たってやっているような状況なんです。ですから私が今職場を回ってまたお願いすることもこれまでやっていませんでしたから、今の提言を受けてぜひ、それらを含めて、担当課も含めて、団長も含めて御相談をしながら、団員が動きやすい環境づくりに私も自ら出向いて頑張っていきたいと思います。

○ 委員長 島袋 勉 君

8番 島袋義範委員。

○ 8番 島袋 義範 委員

定数の件ですが45人。私は団員は先ほど課長も言っていましたけれども、多いほうがいいということでしたので、夜昼となく出るわけですので、巡回交代もしないといけないわけだから、ぜひ45人の定数それだけは確保するために努力していただきたいということを申し上げたいと思います。

○ 委員長 島袋 勉 君

9番 亀里敏郎委員。

○ 9番 亀 里 敏 郎 委員

先ほど島袋委員が全部聞いてしまったんですけれども、私も団員の定数と、それから現団員数について聞こうと思っていましたけれども、それは分かりました。そこで2点ほど教えてください。消防団員報酬、消防団本部員報酬についての内訳です。

そして先ほどから論議しています消防団員の人選はどういう方法でやっているのか。2点お願いします。

○ 委員長 島袋 勉 君

副村長 内間常喜君。

○ 副村長 内間 常喜 君

先ほど島袋委員の御質疑に対しまして村長からもございましたが、役場のほうから、一本釣りという言葉が正しいかどうかは別にして、人選したりしますし。また区長会通じて、区長からの推薦もありますし、そういったいろんなところに声掛けをしながら、自薦他薦もありますが、そういった形で人選、人員の確保に努めているところでございます。

○ 委員長 島袋 勉 君

総務課長 西江 忍君。

○ 総務課長 西江 忍 君

まずは消防団員の報酬でございますけれども、団長が月4万5,000円でございます。副団長が月4万円でございます。分団長が月3,500円、消防団員が月3,000円でございます。それと消防本部員の報酬ですけれども、土日とか祝祭日、役場に詰めていただいておりますが、日額8,500円でございます。それ以外にも、救急があった場合にはこの費用弁償として2,000円を、現場に出た場合には、費用弁償として2,000円を追加してお支払いしているところでございます。

○ 委員長 島袋 勉 君

休憩します。

(休憩時刻10時36分)

再開します。

(再開時刻10時36分)

総務課長 西江 忍君。

○ 総務課長 西江 忍 君

災害時の出動報酬では、4時間以内で5,000円、4時間以上になりますと8,000円を支払っているところでございます。この災害の大きさでも若干ちょっと報酬が違いますが、月額報酬とは緊急時の出動時の報酬がでございます。

○ 委員長 島袋 勉 君

9番 亀里敏郎委員。

○ 9番 亀里 敏郎 委員

先般、団員から私呼び出しされて、内容は去る出初式にあまりにも少な過ぎるものですから、「亀里議員、理由は分かりますか」と言われました。「どういう理由ですか」と聞いたら、「幽霊団員がいる」と言っていました。先ほど総務課長の言った、普通の団員の報酬まではいかないですけれども、手当みたいのを、もらいながら団員として認められるということに、真面目な団員はすごい憤慨すると。そういうことで自然とこれが広がって我々は何なんだと。出る人も出ない人も同じ報酬をあげられていると。そういうことを強く言っていました。幽霊団員という表現をされて言っていました、いかがでしょうか。

○ 委員長 島袋 勉 君

総務課長 西江 忍君。

○ 総務課長 西江 忍 君

委員は幽霊団員と申し上げましたが、私はそのように感じておりません。本当に出初式の参加が少なかったと私は思っております。直近のいろんな人命捜索があったときには、現場から職場から30人とかの団員も実際に集まって海岸線でありますとか、人命捜索とかに当たっているのです、やはり幽霊団員というよりも個人的に出初式とか、式典に参加できない理由があるのかというふうには思っていますが、いざ本当に捜索の

場合には、二十七、八人から30人の団員が集まっていたいておりますので、私は個人的には幽霊団員とは思っておりません。

○ 委員長 島 袋 勉 君

9番 亀里敏郎委員。

○ 9番 亀 里 敏 郎 委 員

先ほど課長のほうから分団長会議があったと。この方も分団長なものですから、参加してこれ論議されたんです。「なぜ参加者が少ないか」と、そういう論議があったんじゃないですか。その会議の結果を教えてくださいませんか。

○ 委員長 島 袋 勉 君

総務課長 西江 忍君。

○ 総務課長 西 江 忍 君

そのような中で議論もございました。その中で参加できない理由とございますか、一旦は各分団長に持ち帰っていただいて、各団員からも分団員からも聞き取りをしてくださいということであって、本当に単純に制服が入らないとか、そういう問題もありました。なので今回、礼服の当初予算において計上させていただきました。この辺は一つ一つ課題を解決したいがために分団長会議を今後も多く持っていきながら、幽霊団員というのが本当に、これもまさしく議会で出たわけですから、しっかりと誰が幽霊団員なのか。この辺もしっかりと聞き取りして、どういう状況なのかをしっかりと確認していきたいと思えます。

○ 委員長 島 袋 勉 君

9番 亀里敏郎委員。

○ 9番 亀 里 敏 郎 委 員

この件はぜひ強く行政として、指導を強化していただきたいと思えます。そこでこの団員からも今後の消防団員の人選について、女子を団員とすることを強く望んでいましたけれども、その辺のところ、今まで女子が団員をしていないことは何か問題があったのでしょうか。

○ 委員長 島 袋 勉 君

総務課長 西江 忍君。

○ 総務課長 西 江 忍 君

ちょっと確認をしないといけないんですが、私の記憶では女性の消防団員は、これまでいなかったと思っています。私が総務課に異動してきたときに、やはり男女共同参画とかそういうのがあって、女性の団員も必要だという話はたびたび分団長会議でも当たっておりますが、なかなか適任といいましようか。その方が見つからないというのが今現状でございます。

○ 委員長 島 袋 勉 君

副村長 内間常喜君。

○ 副村長 内 間 常 喜 君

先ほどから分団長会議の経緯など、お話をさせてもらっておりますが、この出初式あるいは早朝の訓練とか出席率が低いと感じているのは、村長、私も含めて、当局のほうも感じているところでございます。その中でやはり私、出初式のあとにすぐに総務課長と消防担当に話をしたのは、開催の時間そこも問題ないですかと。職種もいろいろあるものですから、農家であったりとか、そういった方々は例えばその時間だと、ちょうど仕事に行く時刻、であったらもっと早くするとか、日にちを調整するとか参加しやすいことも模索する必要はないですかということも投げかけたつもりです。その後に分団長会議でいろんな御意見があったというふうに聞いております。考え方としては組織、集団となるといろんな考え方があるものだなというこ

とで、幽霊団員というよりは行きたくても行けないという方も中にはいらっしゃるのではないかというふうに思っているところです。団員の確保にも努めながら、女性団員というお話もありましたが、操法大会で毎回、伊江村消防団はすごい成績を収めておりまして、今回も優勝する部門もありました。消防本部を持たない非常備消防ではすごい優秀なそういった訓練の結果、成績を収めているところです。その中では女性団員が操法大会に参加するところもあります。市町村によってはですね。そういったものを見ながら、こういうことも将来できたらいいねという話を、団長もなさっていましたし、我々もそういうふうに考えておりますが、その辺の人選とか、男性も含めてなんですが、やっていただける方というものを今後、しっかりと視点を変えながら、視点を変えるというよりも、そういった時代ですということを探していく必要があるのかというふうに認識しているところでございます。

○ 委員長 島袋 勉 君

休憩します。 (休憩時刻10時44分)

再開します。 (再開時刻10時46分)

9番 亀里敏郎委員。

○ 9番 亀里 敏 郎 委員

この間の新聞で、「適材適所で能力発揮」という新聞で、全国唯一の女性消防協会長 久高清美さんが担当しています。この人が言っています。「女性も男性も同じ立場で、適材適所で能力を発揮すべきだ」と言明されています。だから消防は男性だけがやるものという高いイメージがあったのではないのでしょうか。しかし多様化してきている今の時代に、いろいろな複雑な問題も絡むわけですから、男性が蘇生できないところを女性隊員が積極的に蘇生もできる。そういう時代が来ているんじゃないのでしょうか。ただ火事を消すだけじゃないんです、消防団員というのは、人命救助というのが大事なところがありますから、男性が行くといろいろと心肺停止とか、かなり具合の悪いところがあるらしいですから、積極的に女性隊員の採用、入団させるような努力も行政として私は必要と思いますけれども、副村長いま一度いかがでしょうか。

○ 委員長 島袋 勉 君

副村長 内間常喜君。

○ 副村長 内 間 常 喜 君

物事には一番最初にのっかる、最初に行動を起こすというものには勇気が必要な部分もございまして。ある方は、ファーストペンギンという言葉がありますが、海に次々とペンギンが飛び込んでいくんですが、一番最初に飛び込むペンギンが一番、その集団の中のリーダーなんだろうけれども、勇気が必要であるという言葉になぞられて言っているんですけども、この女性の最初の団員がどういったエネルギー、このポリシー、勇気を持ってなっていたかということもありますし、この選び方、この方の立場、職業とかいろんなものもあると思います。努力というものはやはり必要だと思いますので、この団員の募集とか、募集をかけて積極的にできる方がいらっしゃれば、そういうふうに行きたいと思っておりますし、どういった人選の方法があるかも、現在の消防団長の御意見も伺いながら、しっかりと検討してまいりたいと考えております。

○ 委員長 島袋 勉 君

ほかに質疑ありませんか。8番 島袋義範委員。

○ 8番 島袋 義 範 委員

2款でなのか、ちょっと分かりませんが、各区に防災備蓄倉庫が設置されていますよね。この前の建築課長の話の中で、聖苑での発電機の話がありましたよね。置かれているけど、長らくやらないとかからないと。この防災備蓄倉庫にも発電機が置かれていると聞いています。それも毎月1回はかけてみたりしな

いと、いざ何かあったときにかからないという状況にならないかと、ちょっと心配になったわけです私は。建設課長の話聞いて、これちゃんとやられているかどうか、総務課長かどうか、確認できていますか。

○ 委員長 島袋 勉 君

総務課長 西江 忍君。

○ 総務課長 西江 忍 君

今、東江上区、東江前区、伊江小学校、西江上区、西江前区、川平区、真謝区、西崎区には、防災の備蓄コンテナがあって、その中にはインバーター式のガス発電機が1台入っております。ちょっとすみません、毎月点検しているかというのは、いま一度担当の者に確認させていただきたいと思います。

○ 委員長 島袋 勉 君

8番 島袋義範委員。

○ 8番 島袋 義 範 委員

ぜひこれ確認しておいてほしいです。長らく置いておくと機械というのは使えなくなったりもするし、毎月1回でもエンジンをかけておけば何でもない話だけれども、いざというときにかからなかったということがないように、ぜひその辺を確認させていただきたいと思います。

○ 委員長 島袋 勉 君

ほかに質疑はありませんか。〔「進行」の声あり〕

進行します。10款教育費、76ページから101ページ。9番 亀里敏郎委員。

○ 9番 亀 里 敏 郎 委員

87ページ、学校建設費の委託料、細節336. について、いま一度御説明をお願いします。

○ 委員長 島袋 勉 君

教育行政課長 新城米広君。

○ 教育行政課長 新 城 米 広 君

87ページ、委託料336. 伊江中グラウンド整備事業について、御説明いたします。これまでバックネットが何回も、毎年修繕をするような状況でございますが、劣化がどんどん激しくなっておりまして、そのバックネットの修繕が一番今課題となっております。強風で倒れて下敷きになると危険ですので、それを修繕したいということがございますが、それ以外にも運動場の周囲にウレタン舗装があります。俗にいうタータンと言われてはいますが、それもひび割れを起こして上のほうもかなり硬直して固くなっており、それが剥がれたところもあるものですから、それも何とか修繕ができないかと。さらに確か2001年、平成13年にグラウンド整備をしていると思いますけれども、大きな工事をやっていると思いますが、この頃やった土がもう固くて、水はけもすごく悪くなっているということもございますので、この中学校のグラウンド全体をまずは確認しながら、どこまで整備をしたほうがいいのかとか。総合的に計画してみないかということで、基本計画をまずはその中でどれだけやるのか。またはそこでさらに追加するものがあるのか。それとも逆にそこまでする必要はないのかという、そういうためにも基本計画を入れたいと思ひまして、今回計上しているところでございます。

○ 委員長 島袋 勉 君

9番 亀里敏郎委員。

○ 9番 亀 里 敏 郎 委員

議論する前に、この基本計画の策定は令和6年度で終わって、これ着手の時期はいつ頃になるんでしょうか、実際には。

○ 委員長 島袋 勉 君

教育行政課長 新城米広君。

○ 教育行政課長 新城米広君

まず基本設計を入れまして、その規模とか、そういったものも決まってくるかと思いますが、金額がもし大きい場合には、やはり補助事業じゃないとできないということもありますので、そこから補助事業を考えていけないといけないと思いますが、その中で例えば、まずはバックネットの部分だけをしましょうとか。年度で区切って、小さくできるとかという場合にはまた令和7年度にできるかもしれませんし、その辺は基本設計を入れてから考えていきたいと思っております。

○ 委員長 島袋 勉 君

休憩します。

(休憩時刻10時55分)

再開します。

(再開時刻10時56分)

9番 亀里敏郎委員。

○ 9番 亀里敏郎委員

どんなでしょうか課長。写真を見て、多良間村は人口1,200人しかいませんよ。バックネットをこうして、毎年土の運動場というのは整備は必要です。それぐらいの計画をしませんか。そのぐらいのグラウンドは、そんなに維持費もかかるものではない。これも1億ちょっとでできています。どんなでしょうか。

○ 委員長 島袋 勉 君

教育行政課長 新城米広君。

○ 教育行政課長 新城米広君

大変すばらしいグラウンドではございます。このようにできればすばらしいとは思いますが、やはりイニシャルコスト、すごくかかる状況になるかと思えます。ですのでこの基本設計で、その辺も含めましてどういった形が一番適しているのか。A案、B案、C案というような形で、しっかりと確認をしてそこで伊江中に見合ったものを検討していきたいと思っております。

○ 委員長 島袋 勉 君

9番 亀里敏郎委員。

○ 9番 亀里敏郎委員

ぜひですね、伊江島は陸上王国、生徒たちも一般も陸上は強いと。あっちこっちの市町村が言っています。そのぐらいのグラウンドをつくるともっともっと子供たち、そして大人も向上強いと私は思います。どうでしょうか皆さん、オリンピック選手一人ぐらいはつくろうじゃありませんか。4,200人の伊江村だから、できますよ。だから施設があるからできる、できないじゃなくて、そういう施設があることによって子供たちの高揚感というのが高くなると思います。将来の投資です、大事なことです。どんなでしょうか、副村長。

○ 委員長 島袋 勉 君

村長 名城政英君。

○ 村長 名城政英君

そうしたいですね。ただし、まずやらなかった理由から先にやりましょう。当時、晴男議員が建設課の多分担当で、今の全天候型の200メートル周囲やっているんです。なぜできないかという、あの当時そういった構想もあったんですが、伊江中学校は野球があるんです。ですから全面を200メートルグラウンド全面を全天候にしようとしても、野球があるものですから、それは伊江中学校では難しいんです。それでまずは実際にスパイクが履ける100メートルコースだけはしようという計画にあの当時なりました。私も当時いましたので分かりますので、そういう周囲も雨が降ったときもジョギングとかできるようにしようということでああいう形になりましたので、現段階で伊江中学校ではサッカーがある。それから野球があるとい

う中では全面を全天候にするには、現段階では多分難しいだろうと思います。多分、野球はどこかで練習するとか、サッカーはどこに行くとかということになればあれなんですけれども、ただ限られた時間の中で部活動していくということになれば、現段階では少し厳しいのかなというふうに思いますが、将来、社会体育の一環からしても、やはり村陸上競技大会とか、そういったことをやるためには、小さくてもそういったことを造りたいという思いがあって、前村長の頃から400メートルグラウンドの件もありましたけれども、なかなかいろんな障害といますか。いろんな意見も伺いながらやっていく中で、やはりB&Gの体育館が雨漏りをしていて、そこでやはり体育館が先だということで、あの体育館を400メートルグラウンドの予定地だったところに造らせていただいたということと。地主の同意が取れなかったということもあります。

今後そういった中学校のグラウンドではなくて、ほかのところでもしそういったことができることがあれば今後、用地の確保ができればいいけどという夢を実は描いているところです。提言いただきました件については感謝をしながら、実際にこういったところで走るというのが普通な時代になってきていますので、何かできればと思っていますが、今中学校のグラウンドの中で、実際に整備できるのはどの辺までできるのかというところを今回のものではぜひ、教育委員会の考え方を踏襲させていただいて、まずこのオールウェザーが引けるところまでは精いっぱい引いたら、どれぐらい経費がかかるのかなど含めて今回、検討してみたいと思っていますので、御理解いただければと思います。

○ 委員長 島袋 勉 君

休憩します。

(休憩時刻11時01分)

再開します。

(再開時刻11時14分)

引き続き10款教育費、76ページから101ページ。9番 亀里敏郎委員。

○ 9番 亀里 敏 郎 委員

中途半端で終わりましたので最後に、先ほど村長の答弁で「夢を見ましょう」という話がありました。言い古された言葉ですけども、「夢は見るものでなくて、かなえるもの」と言われますので、ぜひ村長に期待して、夢がかなえられるようによろしく願っていて、私の質疑を終わらせていただきます。にふえーでーびたん。

○ 委員長 島袋 勉 君

8番 島袋義範委員。

○ 8番 島袋 義 範 委員

2点ほどお伺いします。98ページの工事請負費、B&G艇庫解体工事と新築工事と2つあります。最初でB&Gの補助事業、補助が5,000万円ができなくなったと。あとで補正減するという話だったけれども、解体も対象になるのかどうかお伺いします。というのは解体が、単費だったら壊すのはこの年度で残しておいてやったらどうかという意味です。

次に2点目は、給食費ですけども、この前もちょっと話をしましたけれども、完全無償化するというと、あとどれぐらいの負担が必要なのかと疑問に思って今、聞きました。これまでも電気代、学校給食費は光熱費も修繕費もちろん全部、人件費も村が負担していますよね。賄い材料費の一部を父兄に負担させているというのが、この学校給食費負担金の総額を390万円余り、中学校で318万円、11万円余り、幼稚園で97万円余り、合計で800万円を負担させているわけです。父兄に負担してもらっているわけです。あとどれぐらい、村が支出すれば完全無償になるのかという点を、この2点をお伺いします。

○ 委員長 島袋 勉 君

教育行政課長 新城米広君。

○ 教育行政課長 新 城 米 広 君

まずはB&G艇庫の件から、令和6年度にやるつもりで申請したわけですがけれども、見送りになったということで御説明申し上げました。このB&G艇庫は、新築工事に関しては補助が受けられます。ですが解体工事は村の単独事業でございます。先ほど委員おっしゃいました単費ならそのまま残して、令和6年度でやったらどうかということなんです、次年度またこちらのほうは申請をしていきます。令和6年8月には申請することになるかと思いますが、そのときに現在の艇庫の状況はということで新築が必要なんですということで、申請を上げていきます。ですのでもた、次年度といえますか。令和6年8月に申請をするときには、また個別調査で確認に来られると思います。ですのでも、その部分はやはりこちらとしましては、その現状の確認をさせながらこの艇庫を新築工事と一緒に年度で解体をしたいと思っているところでございます。合計しますと、両方、備品も併せまして1億1,031万4,000円の金額になるかと思えます。

続きまして、給食費の負担につきましてですが、まず給食費につきましては、幼稚園1,000円、そして小学校1,900円、中学校で2,250円を給食費として保護者が負担しているところでございますが、実際は、幼稚園は3分の2補助で3,000円、そして小学校が小・中学校は半額補助ですので小学校で3,800円、中学校で4,500円となるんですけれども、物価高騰等もありまして、令和6年度は教育委員会に諮りまして、金額を上げております。令和6年度は、幼稚園が200円ずつのアップで3,200円、小学校が4,000円で、中学校が4,700円なんですけれども、この差額分につきましても、村で負担をするということで保護者は変わらず、そのままの負担ということで計上しているところでございます。実際は賄い材料費としまして、実際にかかっている金額としますと、幼稚園では実際は4,100円かかっております。小学校では4,900円で、中学校は5,600円ということで、実際にはそれだけ材料費としてかかっている状況でございます。

委員御質疑の「あと幾らか」ということなんです、その部分はやはり幼・小・中、現在、保護者が負担している分を村が負担すれば無償化ということにはなるかと思えますので806万8,000円を負担ということで、なるんじゃないかと考えております。

○ 委員長 島袋 勉 君

8番 島袋義範委員。

○ 8番 島袋 義 範 委員

私は予算書を細かく見ない間は、もっとたくさんの多額の金額を負担しなければ無償化できないんだというふうに感じていたわけです。単純に計算すると800万円だという思いがあるんですけれども、村長どんなですか。あと800万円負担すればできるということであれば。

○ 委員長 島袋 勉 君

休憩します。

(休憩時刻11時21分)

再開します。

(再開時刻11時22分)

教育行政課長 新城米広君。

○ 教育行政課長 新 城 米 広 君

先ほど、幼・小・中の保護者負担分でやれば無償化という話を、私しましたけれども、訂正させていただきます。実際にこの800万円かかっているわけですが、賄い材料費が2,900万円かかっておりますので、それを差し引きまして2,100万円が実際の経費ということになります。

○ 委員長 島袋 勉 君

休憩します。

(休憩時刻11時23分)

再開します。

(再開時刻11時25分)

教育行政課長 新城米広君。

○ 教育行政課長 新 城 米 広 君

大変失礼いたしました。委員の御質疑が「あと幾らか」、「残り幾らか」ということですので、やはり先ほど申しましたとおり、幼・小・中合計しまして806万8,000円となります。

○ 委員長 島袋 勉 君

8番 島袋義範委員。

○ 8番 島袋 義 範 委員

私は何千万円もかなと最初思ったんです。ざっと計算してみると、どうしてもやはり今父兄に負担してもらっている額の合計の806万8,000円というのを、あと村が出せば無償化なんだという気がして。合っていますよね。今課長の答弁もそうだから。だから800万円だったら何とかできないか思ったりもしたんです。昨日、おとついも言いましたけれども、国、県も完全無償化に近いうちしようかという動きが出ていますけれども、村長の英断で来年からでも完全無償化できないかと。私ももっとたくさんだと思っていたわけだから800万円、村長の給料からでも少し。村長ちょっとお願いします。

○ 委員長 島袋 勉 君

村長 名城政英君。

○ 村長 名城 政 英 君

昨日も同じような感じで御質疑がございましたが、今県の動向を注視したいという話をしましたが、先にやってしまうと、この事業の対象にならないんじゃないかという怖さもあって、正直な話。それでしかしながら前向きに検討しますと、私ずっと施政方針でも申し上げていますから、実は今度4月にも英断をしようかと思ったりしたんですが、ほかの市町村も国頭地区でも6町村が無償化していて、ふるさと納税でやったり、調整交付金であったり、再生交付金、調整交付金も何か使えるみたいな話があるので、それで宜野座村が調整交付金を使うという話も出ているみたいですので、少しいろんなことを考えながらやっていきたいと思っていますが、まずは次年度に向けて前向きに検討させてください。

○ 委員長 島袋 勉 君

8番 島袋義範委員。

○ 8番 島袋 義 範 委員

ぜひお願いします。この件は、二、三年後の選挙のあれにもなるはずだから。

○ 委員長 島袋 勉 君

10款教育費、ほかに質疑はありませんか。〔「進行」の声あり〕

進行します。11款災害復旧費。102ページから103ページ。〔「進行」の声あり〕

進行します。12款公債費。104ページ。8番 島袋義範委員。

○ 8番 島袋 義 範 委員

公債費5億円余り元本があるわけですけども、そのうちの制度債とか使って、返ってくるのは幾らぐらいなのか。わかりますか、分からなければいいけど。

○ 委員長 島袋 勉 君

総務課長 西江 忍君。

○ 総務課長 西江 忍 君

申し訳ございません。いろんな起債事業がございまして、11種類の起債事業を使っておりますが、ちょっと計算しないと、手持ち資料がなくて、今すぐ回答できませんので、申し訳ございません。

○ 委員長 島袋 勉 君

ほかに質疑ありませんか。〔「進行」の声あり〕

進行します。13款諸支出金。105ページから107ページ。〔「進行」の声あり〕

進行します。14款予備費。108ページ。〔「進行」の声あり〕

進行します。歳出、一括して質疑を許します。6番 並里晴男委員。

○ 6番 並里晴男委員

歳出5ページ、12節委託料の細節551. ちゅら島づくり応援寄付金業務につきましてお伺いします。この件につきましては、昨日別に質疑漏れということではなくて、昨日からホームページ等を見て感じたことでもあります。この委託料の中の寄附金業務につきまして、去年もちょっとお聞きした経緯もありますが、今回どのようなことを委託されるのかお伺いします。

○ 委員長 島袋 勉 君

総務課長 西江 忍君。

○ 総務課長 西江 忍 君

委託料につきましては、ふるさとチョイスの運営会社でございまして、商品の掘り起こしといいましょうか。新たな掘り起こしも一緒にやっておりますし、併せてワンストップ納税の救済の支援業務を同じくこの中で委託をしております。それとこの往復のやり取り、受領書とか領収書の発行業務を同じように委託をしております。一番大きいのは、このふるさとチョイスのホームページ等の掲載業務が一番大きいのかと思っております。

○ 委員長 島袋 勉 君

6番 並里晴男委員。

○ 6番 並里晴男委員

伊江村のホームページというか、伊江村の返礼品につきまして確認したところ、68品目ふるさとチョイスのほうでありまして、そのうち約、今のところ26件ぐらいが商品切れのものがありません。これは総務課長から昨年の10月にいろいろ返礼品のパーセンテージ、あるいは地場産業のものが入っていないとできないとか。そういうこともあって、品切れなのかちょっと分かりませんが、この品切れの費目について一応はそういうことなのか。本当にこのつくっている会社が品切れなのか。それとも地場産業のせいで品切れ中なのか。ちょっとお聞きします。

○ 委員長 島袋 勉 君

総務課長 西江 忍君。

○ 総務課長 西江 忍 君

マンゴーとか、時期的な部分で品切れのこともございます。それと本当に請負業者が受けているところが商品が足りなくて品切れという場合もございます。

○ 委員長 島袋 勉 君

休憩します。

(休憩時刻11時37分)

再開します。

(再開時刻11時37分)

総務課長 西江 忍君。

○ 総務課長 西江 忍 君

現実的には本当に物がなくて、品切れというクローズという表示をさせていただいているのが現状でございます。

○ 委員長 島袋 勉 君

6番 並里晴男委員。

○ 6番 並里晴男委員

この品切れの中にハブ皮を使った特産品があるんですが、それについては地場産業の条件にも合致されて

いるんですか。

○ 委員長 島袋 勉 君

総務課長 西江 忍君。

○ 総務課長 西江 忍 君

ハブは伊江村で捕獲といますか、捕られたものをEC（E&Cセンター）から持って行って、それで製品を起こしているという話でございます。

○ 委員長 島袋 勉 君

6番 並里晴男委員。

○ 6番 並里晴男委員

これはですから、地場産業とかそういう条件ありましたよね、国からの。それに合致しているということではよろしいですか。

○ 委員長 島袋 勉 君

総務課長 西江 忍君。

○ 総務課長 西江 忍 君

70%以上の地場産業ということで基準がありまして、オリオンビールもそうです。小麦が入っているということで、それもそのまま載っておりますし、掲載されております。70%超えているものだと思っております。

○ 委員長 島袋 勉 君

6番 並里晴男委員。

○ 6番 並里晴男委員

ではそれは合致しているということでありますので、それは了解とします。

そこでもう1点、今回質疑した主な理由としまして、国頭の町村の返礼品の品数を確認してみました。伊是名村も110余りあります。大宜味村、国頭村、東村、今帰仁村、そういったところほとんど100以上の返礼品が掲載されているんです。100以下は伊江村と伊平屋村だけです。伊平屋村が40と返礼品の数字がありました。伊江村が68という数字がありました。ふるさとチョイスですよ。今回質疑したのは、この委託料のときに、そういった返礼品が多くまたできるのかどうか。いろんなことをまた再度、検討していただいて、各自治体のほうも、皆さん見ていただいてどういったものがあるのか。本当にそういったことを業者任せだけじゃなくて、しっかりと検討していただきたいと思います。総務課長ひとつ、御答弁をお願いします。

○ 委員長 島袋 勉 君

総務課長 西江 忍君。

○ 総務課長 西江 忍 君

一生懸命努力をしたいと思います。ただ申し上げている、なかなか加工品でありますとか、青果マンゴー等はございますが、やはり時期的なものもございます。年間を通して掲載できるような商品を掘り起こし、探してはいるんですが、なかなか合致するものがないというのが現状でございます。どうしてもこれだけは役場だけで商品開発できるものではございませんので、企業の皆さんにもぜひとも努力をいただきながら、返礼品の数を増やしていきたいと思っております。

○ 委員長 島袋 勉 君

11番 内間広樹委員。

○ 11番 内間広樹委員

村長の施政方針についてお伺いします。本議会初日に施政方針を述べられましたけれども、その中にデジ

タルトランスフォーメーション、DXの推進を掲げられていますけれども、これ漠然としてよく分からないので、もう少し具体的にどういった推進計画なのか、お伺いします。

○ 委員長 島袋 勉 君

企画課長 島袋英樹君。

○ 企画課長 島袋 英 樹 君

施政方針に、デジタルトランスフォーメーション、DXの推進についてということで、昨年度から具体的な政策について、村長の施政方針に記しております。今年度につきましては、昨年度策定いたしました伊江村DX推進計画、令和5年度から向こう5か年間の推進計画を策定いたしました。その中で市町村ごとによって、自治体DXの今後についての方針を定めるんですが、伊江村の現状に合った形で1年以上、繰越しをしたんですが、課長補佐そして推進委員会、副村長をトップとする委員会、そして課長補佐の皆さんがやる現場でのいろんな課題とか拾い上げてきました。そういった中で現状伊江村におかれる課題というのを、具体例を挙げますとサーバー関係、このサーバーの数が約20数台あるんですが、それが大分老朽化の時期に来ていると。それから各デスクにあるパソコン、本村有線、線でつないでいるんです。この線においてもやはり業務上、自分たちが使っているデスクトップのパソコンをいろんな場所で、無線化することによって、業務効率が上がるんじゃないかというところの改善点、課題点、そして現状置かれているこのシステムのこの構図とか、伊江村のDXの構図、そういったものの類が今まで整理されていなかったというところを今回、整備計画をのせてそしてそれを踏まえまして今年度、令和6年度においては、まずはこのいろんな行政、デジタルを計画に基づいて業務効率を図れないかというところで、具体的に考えているのは近代システムといえますか。タイムカードの出勤をデジタルにおいて、活用することによって改善していくとか。あと先ほどあります情報発信する村の顔となるホームページが大分なっています。そういったものをどうやっていくかというところとか、あと先ほどあったインターネット、IT、デジタルの部分においての見直し、そういったところを今年度やっていきます。そしてまた村民の皆さんに対しては、ちょっと横文字で難しいのですが、デジタルデバイトの解消、これ何ぞやということは、インターネットの恩恵を受ける人と、受けていない方の差というのを縮めるために一昨年、KDDIかドコモですか、伊江村のほうに来て、慣れていないスマホをうまく、ある程度基礎的な使い方を学べる場を今年度も一応、情報通信会社と調整して、やはりこういうネット社会、いろんな部分において、ちょっと慣れていない方に対してまた再度やっていけるような取組とか、そういった形での今年度の計画をやっていきたいと。伊江村が現状を抱えている問題点、今後こうしたほうが良いというところをまとめておりますので、令和6年度においてもそういう形で、足元から取り組んでいきたいということでございます。

○ 委員長 島袋 勉 君

8番 島袋義範委員。

○ 8番 島袋 義 範 委員

ふるさと納税に関連して質疑をいたします。村長の施政方針の3ページにございますけれども、2. 基本的な考え方の中で、「企業版ふるさと納税においても、郷友会や関係する企業等へ寄付活用事業の必要性や企業にとってのメリットなど丁寧な説明を行いながら、積極的なアプローチをかけ、継続的な寄付につなげるよう取り組んでまいります。」というふうに述べられています。そこでこれまでマラソン30回、マラソンはもちろんスタートのときからずっと協賛いただいているちとせ、あるいはナンバーの件ですけれども、その方はマラソンだけではなく、ゆり祭り、村の人材育成、またコロナのときには村全体に体温計とか寄附をしたり、相当の伊江村への愛着を持って寄附をされてきました。この会長が、私のところに来ておりして、「義範、これまでいろいろやってきたけれども、今回のマラソンから協賛を抜けるようにした」とおつ

しゃっているんです。「どういうことですか」と聞いても、「いや、詳しくはもういいよ」ということで話をされておられません。何でこれまでは島のために頑張ってきたのに、別に金に困ったわけではないはずなのに、去る場合は1,000万円もこの中学校のピアノ、あるいは放送局を介していろいろやったんですけれども、そういうことを一生懸命されてこられた方が、協賛から抜けるんですかと。理由はおっしゃいませんでした。どういうことなのか、ちょっと分かる範囲でお願いします。委員長この件、記録に残すことが悪ければ削除してもいいと私は思っています。ちょっと分かる範囲でお願いします。

○ 委員長 島 袋 勉 君

休憩します。 (休憩時刻11時48分)

再開します。 (再開時刻12時00分)

ほかに質疑はありませんか。〔「質疑なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

休憩します。 (休憩時刻12時00分)

再開します。 (再開時刻13時30分)

---

○ 委員長 島 袋 勉 君

日程第2 議案第2号 令和6年度伊江村診療所特別会計予算を議題とします。

これから質疑を行います。歳入、款ごとに質疑を許します。

1款、診療事業収入、1ページから2ページ。〔「進行」の声あり〕

進行します。4款繰入金、3ページ。〔「進行」の声あり〕

進行します。5款繰越金、4ページ。〔「進行」の声あり〕

進行します。歳出、款ごとに質疑を許します。

1款一般管理費、1ページから6ページ。8番 島袋義範委員。

○ 8番 島 袋 義 範 委員

本村の透析患者の推移というか、見通しというのを、その辺をちょっとお伺いしたいと思います。

○ 委員長 島 袋 勉 君

医療保健課長 万寿祥久君。

○ 医療保健課長 万 寿 祥 久 君

見通しということでございます。将来の展望という理解の下に御説明させていただきますが、今現在18人の透析の患者が血液透析を受けております。この18人が将来減るのか、増えるのかという予測に関しては、過去を見てみますと、透析センターができて10年が経過しております。施設規模は、1日置きに週3日ということで2グループ、ベッド数が11床で、実数稼働が10床になっておりますので、この施設、規模的には20人の透析患者に対応する施設規模になっております。過去、最大で19人の透析患者の実績が年度でございますが、幸いというか、この20人を超えた年度は今、過去10年ございません。仮に増えた場合は、今1日この10人ずつを透析をしておりますが、超えた場合は1日で2クルーといいますか。午前やってまた午後やるというような形で対応せざるを得ないというところになりますので、診療所としてはなるべく透析患者、慢性腎炎、腎不全等、要するに腎臓疾患にならない予防のほうを重点的に取り組んで、特定の栄養指導とか、そういったものをしっかりやって、なるべく患者を増やさないように取り組まなければいけないということは、常々課題として取り組んでいるところでございます。

○ 委員長 島 袋 勉 君

ほかに質疑はありませんか。〔「進行」の声あり〕

進行します。2款診療事業費、7ページ。〔「進行」の声あり〕

進行します。3款予備費、8ページ。〔「進行」の声あり〕

進行します。これで質疑を終わります。

以上で本日の日程は終了しました。

本日は、これで散会します。

(散会時刻13時36分)